

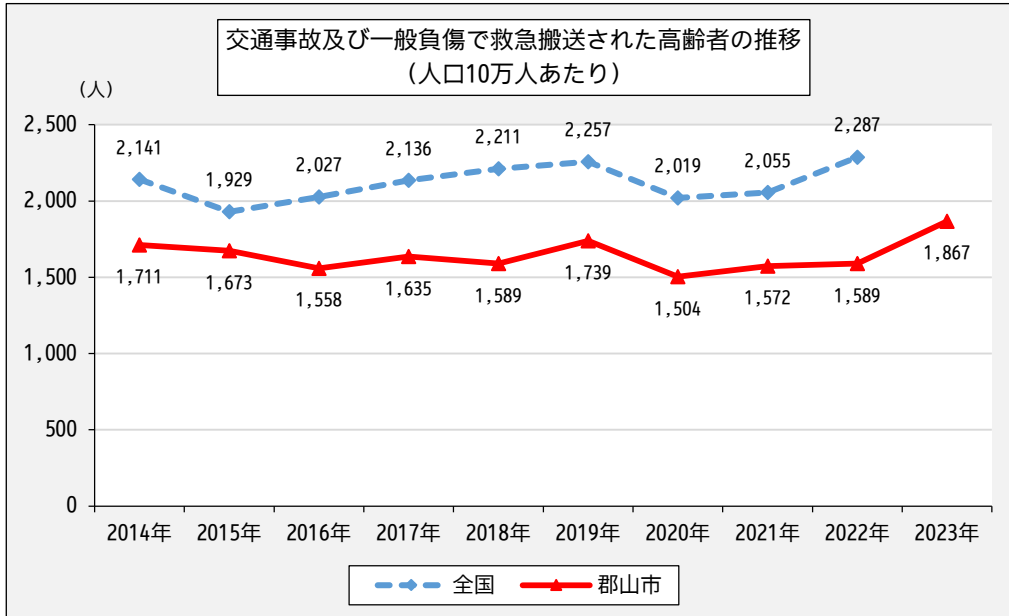
分野3 高齢者の安全

<年齢区分>

高齢者…満65歳以上の者

(1) 全国・市の交通事故及び一般負傷を要因に救急搬送された高齢者の推移 (人口10万人あたり)

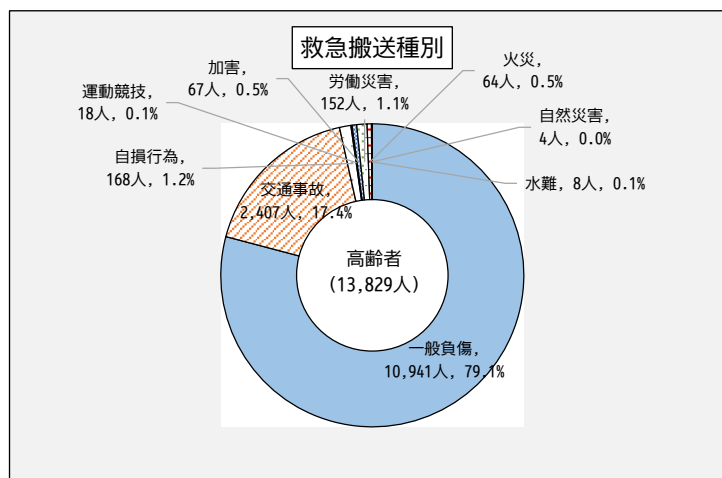
郡山市は、全国を下回り、2022年までは横ばいで推移していたが、2023年は増加した。



(備考) 1 「消防白書」(総務省消防庁)、「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成
2 算出に用いた人口はP.5の表2による

(2) 救急搬送された高齢者のけがや事故の種別(郡山市)(2014~2023年累計)

「一般負傷」が一番多く79.1%を占め、次いで「交通事故」が17.4%である。

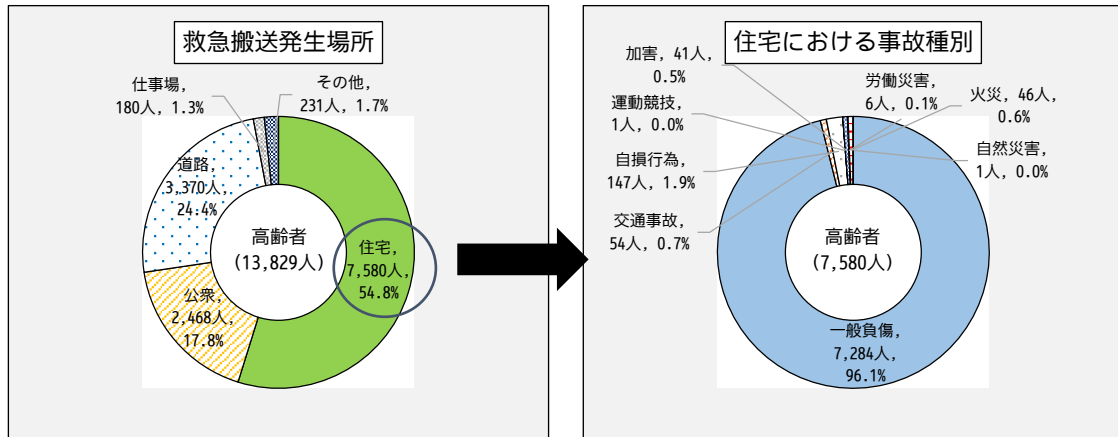


(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野3 高齢者の安全

(3) 高齢者のけがや事故による救急搬送発生場所（郡山市）（2014～2023年累計）

約5割は「住宅」である。「住宅」の事故種別は「一般負傷」が9割以上を占める。

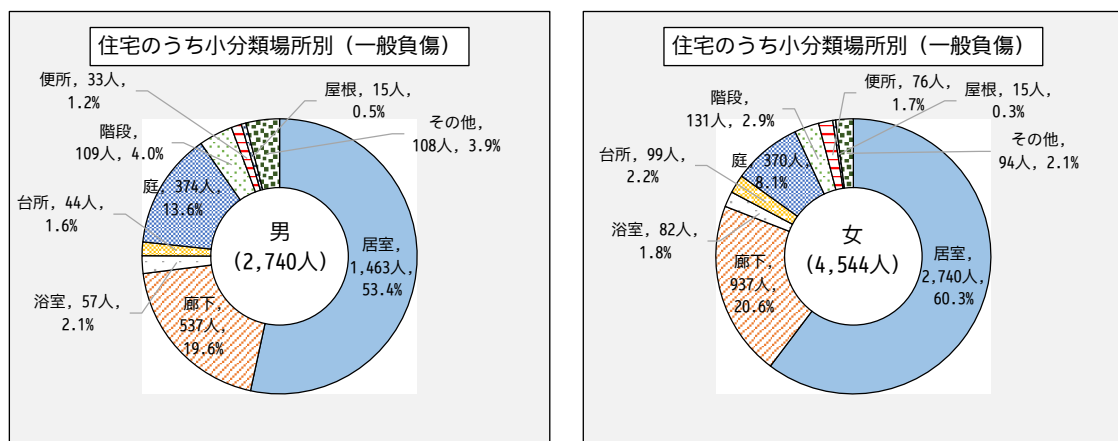


(備考) 「救急搬送データ(詳細版)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

※全体の54.8%を占める「住宅」で起きるけがの種類の内訳は、右のグラフのとおり

(4) 住宅から一般負傷を要因に救急搬送された高齢者の男女別発生場所小分類（郡山市）（2014～2023年累計）

男女ともに「居室」が一番多く、男が53.4%、女が60.3%となっている。次いで、「廊下」で男が19.6%、女が20.6%となっている。

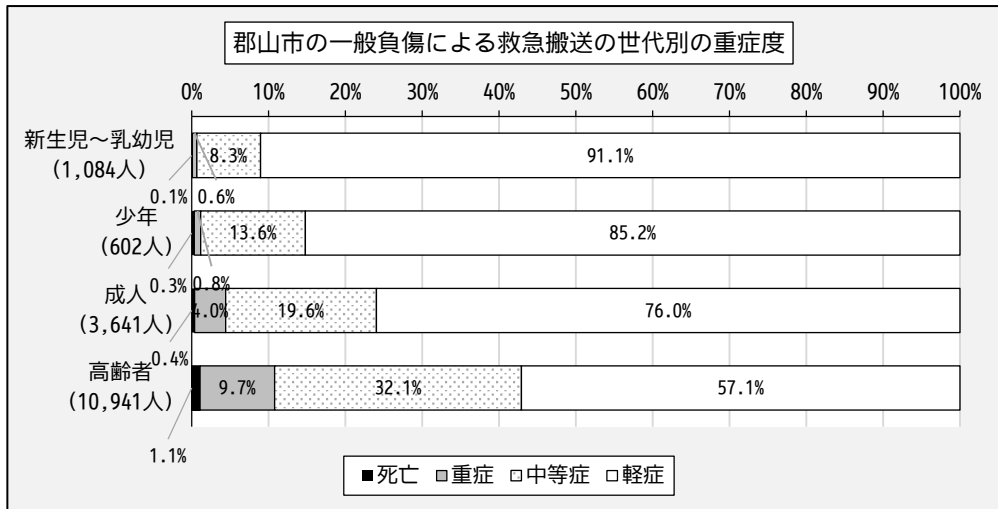


(備考) 「救急搬送データ(詳細版)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野3 高齢者の安全

(5) 一般負傷を要因とした救急搬送の年齢別重症度率（郡山市）（2014～2023年累計）

高齢者の重症度率は、「死亡」と「重症」を合わせると10.8%であり、成人の4.4%と比べると倍以上となっている。

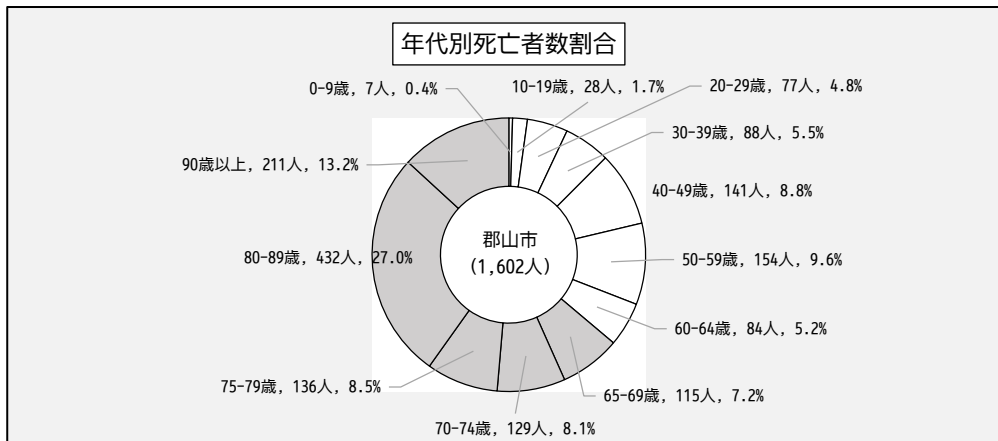


(備考) 1 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

2 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合がある

(6) 傷病及びその他の外因による年代別死亡者数（郡山市）（2014～2022年累計）

65歳以上が6割以上を占める。



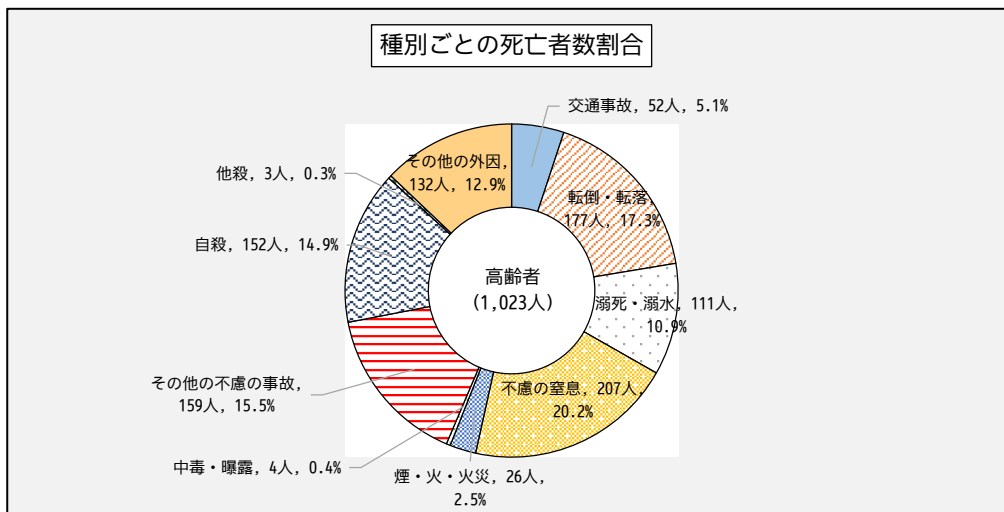
(備考) 「人口動態統計」(厚生労働省)を加工して作成

年齢層	2024年人口割合(%)…①	年齢層別死亡割合(%)…②	①-②
0-9歳	7.5	0.4	7.1
10-19歳	8.9	1.7	7.2
20-29歳	9.7	4.8	4.9
30-39歳	11.4	5.5	5.9
40-49歳	13.9	8.8	5.1
50-59歳	13.9	9.6	4.3
60-64歳	6.5	5.2	1.3
65-69歳	6.7	7.2	-0.5
70-74歳	7.2	8.1	-0.9
75-79歳	5.4	8.5	-3.1
80-89歳	6.8	27	-20.2
90歳以上	2	13.2	-11.2

分野3 高齢者の安全

(7) 高齢者のけがや事故による種別ごとの死亡者数（郡山市）（2014～2022年累計）

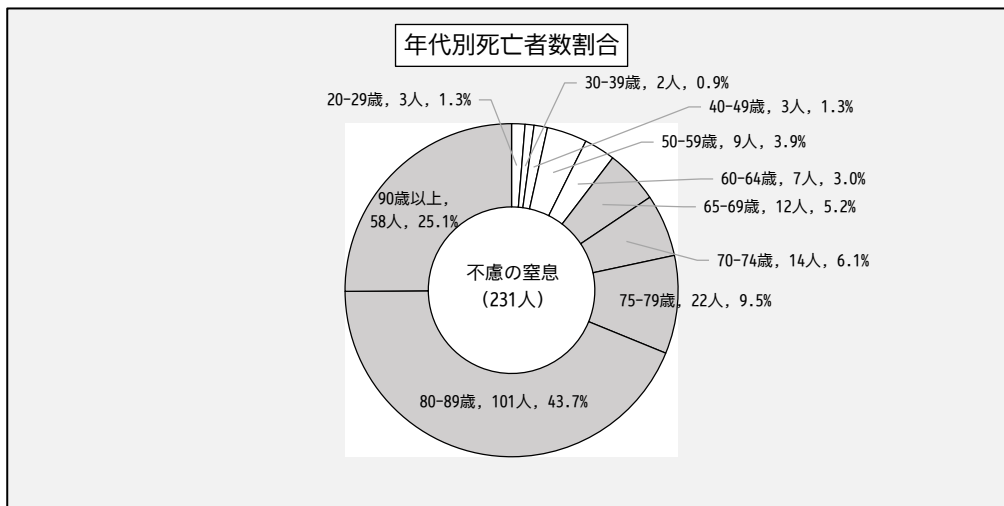
「不慮の窒息」が一番多く20.2%となっており、次いで「転倒・転落」が17.3%となっている。



(備考) 「人口動態統計」(厚生労働省)を加工して作成

(8) 窒息による年代別死亡者数の割合（郡山市）（2014～2022年累計）

「80-89歳」が43.7%で一番多く、次いで「90歳以上」が25.1%となっている。高齢者（65歳以上）が約9割を占める。

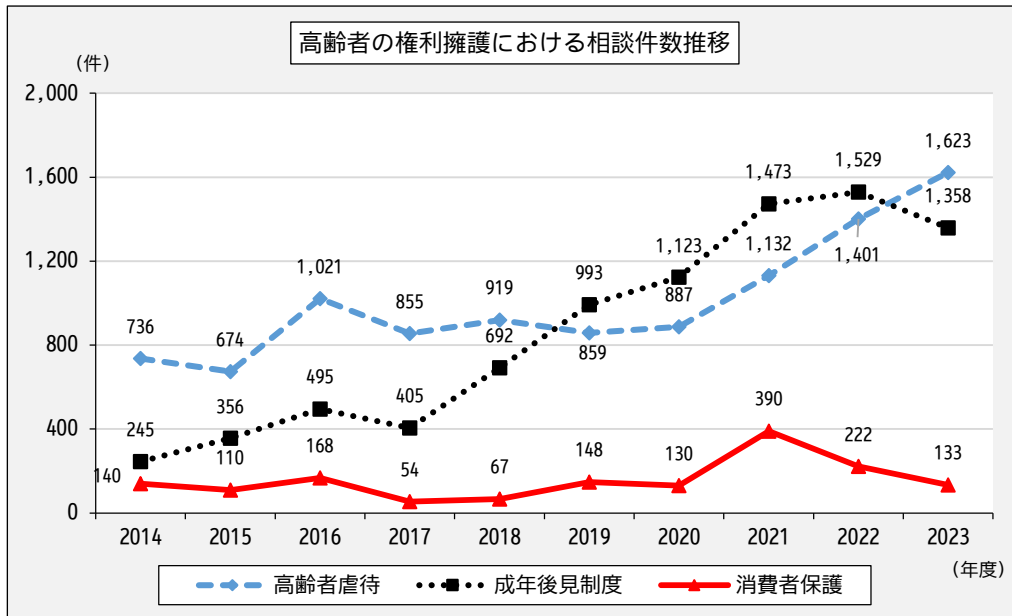


(備考) 「人口動態統計」(厚生労働省)を加工して作成

分野3 高齢者の安全

(9) 高齢者の権利擁護における相談件数推移（郡山市）

「高齢者虐待」は2016年度に増加し、それ以降は横ばいで推移していたが、2020年度以降増加している。



(備考) 「センター別包括的支援事業の実施状況」(郡山市地域包括ケア推進課)を加工して作成